

笑門福来

看護部長 西川 幸子



新年あけましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願いたします。2015年元旦、私の地元八戸は珍しく、うっすらと雪のあるお正月となりました。大好きな雪を見ながら新年を迎え、何か凛とした気持ちになりました。

新年にちなみ表題を『笑門福来』としました。私は、笑うことが大好きです。『笑い』には、人を癒し、ストレスを発散し、免疫力を高めるなど不思議な力があります。おなかを抱えて大笑いすると、些細なことでも、

その喜びや楽しさ、そして嬉しさが増すような気がします。振り返りますと、大昔、確かに『著者が転がっても面白い』という時期はありました。笑いすぎて翌日腹筋が痛むこともよくありました。が、最近は腹を抱えて涙を流してまで笑うという機会がめっきり少なくなりました。

笑顔を忘れずにしています。笑顔が忘れられないように、自分自身に気をつけて、『なんと』という意識を『なんと』と表情筋を動かして一度リセットします。眉間に縦ジワが深く刻み込まれないよう日々注意を怠ってはいけません。

では、これまで、笑っていて福が来たのかと言いますと、宝くじが当たったこともありませんが、それは疑問符です。が、体調を崩すことなくこれまで働き続けていられることが、その恩恵だと思っています。

最後にありますが、2015年、皆様にとって穏やかな1年であり、また、2015年を笑って迎え、笑って終えられるように、やればできる自分を信じ笑顔で過ごしたいと思っています。

職場紹介 脳神経外科 部長 磯部 正則



●さらに最善を求めて探求、進歩する

●画像診断に頼らず、診察所見を大事に診断診療

●患者さんの立場に立った診療

脳の病気を適切に扱うのは、もちろん、脳の病気ではないもの、頭痛、めまい、手のしびれ、腰痛、足のしびれ、不眠、肩こりなどにも、説明と対応、治療もしています。

△脳・脊髄外科センター▽
わたくし磯部は、センター長

として、脳手術、脳外科外来、入院病棟確認、対外活動(情報交換、他院往診を含む)を行い、山崎、池田両先生が大変よく働き、脳手術、脳外科外来、救急、入院病棟対応を確認怠りなく活動しています。千葉、岩本先生は、これらのサポートと脊髄外科手術を行っています。

△末梢神経外科センター▽
井須先生は、センター長として、脊髄外科外来、腰痛外来、末梢神経外来、脊髄外科手術、末梢神経外科手術を行い、千葉、岩本先生は、脊髄外科外来、腰痛外来、脊髄外科手術、末梢神経外科手術、外来・病棟治療、学術活動で診療の評価を行い、井須グループはさらに最善を求めて探求、進歩しています。磯部グループもより良い診療治療

活動を目指します。

今後、定期的に、診療活動の紹介をして、脳外科といえれば労働院だろうと分かって頂ければと思います。

まず今回は、頭痛の話の第一回目を。

頭痛は、くも膜下出血、小脳出血、脳腫瘍、髄膜炎、両側性慢性硬膜下血腫などで生じます。が、特殊なもの(椎骨動脈解離)以外のほとんどの脳梗塞ではまず起こりません。それよりも何よりも、ほとんどの頭痛は幸いこれらが原因ではなく、筋緊張性頭痛(肩こり頭痛)や片頭痛系なのです。

詳しくは、次回へ続く。
2015年1月7日 スマホに変えて使いづらい 磯部正則

第23回 ケニア無料診療報告

昨年、私は宮城島副院長、大坪歯科口腔外科部長、小田内科部長と共にILFAR (The Inada-Lange Foundation for AIDS Research) 主催のケニア無料診療キャンプに参加させて頂きました。キャンプの目的は、プムワニ村 (Pumwani Kenya) でのHIV感染者のフォローアップと一般医療活動です。

9月12日(金)の勤務終了後、不安を胸に19時釧路空港に集合し出発しました。不安は初めての海外旅行はもとより、エボラ出血熱、イスラム国のテロ、マラリア等々でしたが、23日(水)深夜、皆と元気に帰国する事が出来ました。ケニアでは薬剤師として不慣れではありましたが素晴らしいキャンプ参加者に恵まれて楽しく仕事を行うことが出来ました。この医療キャンプ活動の一部を写真で報告させて頂きます。

尚、「ケニア無料診療キャンプ」の詳細につきましては「イルファア」釧路通信2014年11月号(イルファア釧路ホームページ)を参照して下さい。最後に「ケニア無料診療キャンプ」の参加に御支援御鞭撻賜りました病院長・薬剤部長始め釧路労災病院その他関係者の皆様に感謝申し上げます。

稲田頼太郎
イルファアケニア代表と
医療キャンプメンバー

内科医3名、小児科医1名、薬剤師2名、鍼灸師2名、歯科衛生士1名、日本人ボランティア1名; 当院派遣者除く

内科ブース

宮城島副院長と小田内科部長
(総患者数約2,000人)

歯科ブース

大坪歯科口腔外科部長
総抜歯数108本(総患者数86人)

薬局ブース

片言のスワヒリ語で
服薬指導する私

支援:教材ならびに運動具等のサポート

モヨ・チルドレン・センター(MCC)
孤児達と松下照美主宰(中央)

宮城島 シエフ

※写真協力「イルファア釧路」と
無料診療キャンプ参加者の皆様

編集後記

今が一番寒い時期、2月4日は立春ですがまだまだ寒い日が続きます。
経営企画課 関 吉章

寒い毎日で、インフルエンザも流行ってきています。みなさんに、体に気を付けて下さい。
神経内科 津坂 和文

寒い日が続きますが、Jリーグ各チームはキャンプに入る時期です。3月開幕楽しみだな。
薬剤部 梶原 徹

毎年、冬になるとインフルエンザや氷雪道への注意など、気を張る事が多くなります。体調に留意して元気に乗り切りたいものです。
リハビリテーション部 田口 暢 秀

例年のことですが、外に出ればツルツル路面に緊張の毎日です。春が待ち遠しいです。
栄養管理室 山田 千尋

寒い日が続きますが、豆まき、バレンタインなど温かくなる行事を楽しみましょう!
中央手術室 武田 香苗

雪降る中で露天風呂に入りたい。でも、温泉へたどり着くまでの冬の運転は気が進みません。早く夏タイヤに交換できる時期が来ないものでしょうか。先日BS放送で高倉健さん主演の「八甲田山」が放送されました。寡黙な男を目指したいと思っていました。転倒での骨折が増えてきています。足元にはくれぐれも注意してくださいね。
中央検査部 遊 佐 純 教

